

▶二人三脚でワイナリーを営む



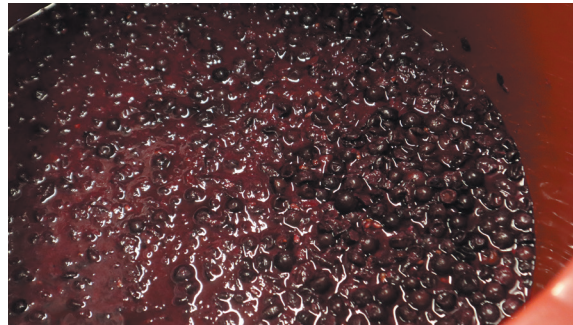
(右) 森谷尊文(もりや・たかふみ) 1978年、神奈川歯科大学卒業。80年7月に森谷歯科医院開設、同年、西多摩歯科医師会入会。95年に西多摩歯科医師会理事に就任し、02年に同会理事退任。11年に株式会社ヴィンヤード多摩を設立し、東京都あきる野市に自社畑を所有。ワイン造りを通して地域の活性化・高齢者・障がい者福祉に寄与可能な業態を目指し、耕作放棄地の農業分野と福祉分野の解決に向け取り組む。

(左) 中野多美子(なかの・たみこ) 1978年、東京歯科大学卒業。勤務医を経て92年より医療法人社団優美会開設、22年8月に歯科医師を引退。00年から05年までWSET日本校にてワインを学ぶ。その後もヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアなどのワイナリーを訪問、研鑽を重ねる。12年よりワイン用の葡萄の栽培を手掛ける。18年にワイナリーを設立、70アールの葡萄畑の栽培を手掛ける。ワイナリーでは主に農業の管理が業務。

ヴィンヤード多摩ホームページURL <https://vineyardtama.com/>



▲ワインの「顔」とも言えるエチケット。「のらぼう」のエチケットはシールではなく、地元の間伐材を使用したホルダー型。地域貢献への想いが細部に垣間見える



▲開放桶の中で発酵中のワイン。農業と福祉の連携を目指し、従業員総出で収穫したぶどうから丹精込めて作られている



▲オリジナルのコルク栓には「Brush your teeth after drinking」(飲んだ後は歯を磨いてね)の文字

「農福連携」で共生を目指す

——障がい者の方や高齢者の方も農業に従事されているそうですね。

私たちにはワイナリーを障がい者や高齢者の就労の場にしたという思いがあります。障がい者の方々の就労先は限定される傾向があります。しかし、楽しみながら一緒にワインを生産することで、一人ひとりの成長に繋がりたいと考えています。また、私や中野専務が歯科の定期検診を担ったご縁もあり、日の出町にあるグループホームの方たちに農業に従事してもらっています。彼らには独自のぶどうを栽培してもらい、オリジナルのワインとして販売する予定です。

現在、「のらぼう」という商品がありますが、エチケット(ワインに貼られたラベル)はあきる野の間伐材を使い、障がい者支援施設で作っていただいています。他にも、「青梅にある就労継続支援B型の畑がなくなってしまう」と、施設入居者のご家族から相談を受け、ヴィンヤード多摩での対応を検討しています。ぶどうだけではなく、野菜も栽培して系列の弁当屋さんに卸し、収益面でも安定したサイクルを構築し、長く働ける環境を作ることが理想です。

「二刀流」の原動力

——ワイナリーとしての目標は。

これまでは栽培、醸造、販売が3カ所に分かれていましたが、今年8月に現在の土地にすべての工程を管理できるワイナリーがようやく完成しました。11月に正式オープンを果たし、キッチンカーや射的などを用意した初日は、ファミリーや子どもたちで賑やかな光景が広がりました。バリアフ

リーなので、高齢者や障がいを持った方々も含め、皆が集まって飲んだり食べたり、楽しんでくれる公園のようなワイナリーにすることが目標です。私たちは「ワインはあくまで1つのツール」だと思っています。ワインをきっかけに人が集まる空間になれば良いですし、様々な方法である野市を活性化していきたいです。

——現役の歯科医師ですが、歯科医師を目指されたきっかけを聞かせてください。

小学校の頃から飛行機の模型を作るほど手先が器用で、設計図を書いて材料を曲げ、組み立てることが好きでした。そんな中、叔父が歯科医師で、診療所で歯科技工の様子を見て、「なんだか面白そうなことやってるな」と幼いながらに感じ、歯科医師を目指すようになりました。ただ、母親は農家の生まれだったので、今こうして私がぶどう作りなどの農業に従事していることには縁を感じます。

——週5日は歯科診療、2日はワイナリー経営という多忙な日々ですが、その原動力

はどういったものですか。

休みなくただがむしやりに走っているだけで、「始めてしまったからには後には引けない」、その思いで今日まで来ました。ちょうど今年、診療所も移転しました。年齢を重ねる患者さんに配慮し、今までの2階からバリアフリーになっている1階のスペースに移りました。今年は診療所もワイナリーも新しくなって大変なことも多いですが、とにかく走り続けるしかないと思っています。本日は休みがほしいですが、家にこもって1日何もしないことを考えると、手持ち無沙汰で困ってしまうかもしれません。

——最後に大切にしている言葉を。

座右の銘は特にありません。とにかく一生懸命働いて、一生懸命社会に貢献できたという思いだけです。歯科医療と地域に開かれたワイナリーの両軸で社会に貢献していきたいと考えています。

——本日はありがとうございました。



▲あきる野市のふるさと納税返礼品として、「ヴィンヤード多摩」のワインが扱われている。詳しくは下記のQRコードからアクセス

【農福連携】障がい者や高齢者が生きがいを出して社会参画や雇用創出を実現と、高齢化や後継者不足で増加する耕作放棄地などの課題解決に向けて、福祉と農業が連携して地域共生社会の実現を図る取り組み。

19年に農福連携等推進会議で「農福連携等推進ビジョン(案)」が示された。現在、農業分野で活躍する事業者増加を目指し、政府は24年度末までに目標値を掲げるなど、官民挙げて取り組みを推進している。



あきる野市のふるさと納税返礼品はこちら

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/13228>



歯科医師のための

医師賠償責任保険

(G 受保会社)
三井住友海上・東京海上日動

万が一の医療上のトラブルに備えて

歯科診療所におすすめ

**事業活動総合保険
ビジネスキーパー**

(G 受保会社)
三井住友海上

大切な医療機械等を
破損リスクから守る

歯科医師のための

**第2休業保障
所得補償保険**

(G 受保会社)
三井住友海上

万が一の休業休診に
備えて収入を補償します

株式会社 **アサカワ
保険事務所**

〒141-0031 品川区西五反田 1-28-3

TEL 03(3490)1751
FAX 03(3490)1780

E-mail: info@asakawahoken.co.jp
<http://www.dairitenhp.com/asakawahoken/>

現場で役に立つ“本作り”
を目指しています。

受付事務と
医療保険制度 (練習問題付)



練習問題で
学習し、
保険証の
取り扱いを
スムーズに
B5判
2,200円(税込)

カルテの手引き



2022年4月
改正に対応。
保険点数の
ルールブック
A5判
2,200円(税込)

歯科アシスタント
MY BOOK



新人スタッフ
の教育に
スタッフの
再教育に
A5判
1,650円(税込)

お求めは **アイ・デンタルサービス**

〒108-0073 東京都港区三田 3-4-6-801
☎03-3798-1778 FAX03-3798-8505